

スマートフォン、タブレット端末が牽引、PCはじめアプリケーションも広がる

## タッチパネルの世界市場を調査

17年タッチパネル世界市場 19億4,160万枚(12年比73%増)、8,853億円(同68%増)  
→大半を占める静電容量式では、アウトセル型ガラスセンサーからカバーガラス一体型、インセル型、オンセル型へ移行が進むほか、アウトセル型フィルムセンサーの需要も拡大。

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 阿部 界 03-3664-5811)は、2012年10月から2013年1月にかけて、タッチパネルと構成部材の世界市場を調査した。その結果を報告書「2013 タッチパネルと構成部材市場の将来展望 <上巻・下巻>」にまとめた。

この報告書は2分冊となっており、タッチパネル市場の川上(構成部材)から川中(タッチパネル)、川下(アプリケーション)までを俯瞰した。上巻では、タッチパネル搭載アプリケーション(6品目)、タッチパネル(5品目)、タッチパネル製造装置(3品目)各市場の現状と今後を調査・分析すると共に、国内外のタッチセンサー/モジュールメーカー36社の事業戦略を詳述した。下巻では、タッチパネル構成部材(32品目)市場の現状と今後を調査・分析すると共に、国内外のタッチパネル部材メーカー24社の事業戦略を詳述した。

### <調査結果の概要>

#### タッチパネル(タッチセンサー)世界市場

摘要	2012年	2017年予測	17年/12年比
数量	11億2,395万枚	19億4,160万枚	172.7%
金額	5,265億円	8,853億円	168.1%

タッチパネル世界市場は、2012年に前年比46.5%増の11億2,395万枚、同49.9%増の5,265億円となった。静電容量式タッチパネルの代表的なアプリケーションであるスマートフォン、タブレット端末の急速な普及により大幅に市場が拡大した。また、「Windows 8/RT」(Microsoft)の発売を受けてノートPCやデスクトップPCなど比較的画面の大きなアプリケーションへの静電容量式タッチパネル搭載が本格化したほか、カーナビゲーションシステムなどの車載ディスプレイやDSC(デジタルスチルカメラ)などのアプリケーションにおいても、静電容量式タッチパネルの搭載が広がった。

2017年のタッチパネル世界市場は、2012年比72.7%増の19億4,160万枚、同68.1%増の8,853億円が予測される。静電容量式タッチパネルは、4~20インチの入力デバイスとして確固たる地位を確立すると考えられる。アプリケーションの広がりと共に、軽量・薄型・低価格化を図ってアウトセル型ガラスセンサー(I TOガラスを用いたタッチセンサー)からカバーガラス一体型、インセル型、オンセル型への移行が進むほか、アウトセル型フィルムセンサー(I TOフィルムを用いたタッチセンサー)の需要も増加する見通しである。抵抗膜式タッチパネルは静電容量式への移行が進み縮小が進む一方、ローエンドのアプリケーションをはじめとした用途では底堅いと見られる。

#### 【方式別構成比(数量ベース)】

	方式	2012年	2017年予測
静電容量式	アウトセル型	66.3%	41.9%
	カバーガラス一体型	3.8%	32.8%
	インセル型	4.4%	11.5%
	オンセル型	8.4%	8.9%
	抵抗膜式	17.1%	4.9%

タッチパネルの方式別に見ると、静電容量式への移行が進んでおり、2012年は静電容量式がタッチパネル世界市場の82.9%（数量ベース、以下同）を占めた。今後も抵抗膜式からの移行が進み、2017年のタッチパネル世界市場における静電容量式の構成比は95.1%に上ると予測される。

#### 1. 静電容量式 アウトセル型

2012年時点においては、静電容量式はアウトセル型が主流であり、タッチパネル世界市場の66.3%を占めた。アウトセル型のうち、低価格かつ軽量で耐衝撃性に優れたフィルムセンサーが復権しており、特にタブレット端末以上の大画面アプリケーションにおいて需要が拡大している。

今後はアウトセル型ガラスセンサーからカバーガラス一体型への移行が進むとみられ、タッチパネル世界市場におけるアウトセル型の構成比は2017年に41.9%へ縮小すると予測される。

#### 2. 静電容量式 カバーガラス一体型

カバーガラス一体型は、アウトセル型ガラスセンサーからの移行が進んでいるものの、強度面など技術的な課題があることから、強度が求められるスマートフォンへの搭載がやや下火となっている。一方、スマートフォンほど強度が求められていないノートPCやウルトラブックでの採用は増えているほか、タブレット端末でも「Google Nexus 7」（ASUSTeK Computer）などへ搭載が進んでいる。

カバーガラス一体型は軽量・薄型・低価格化に優位であることから、技術的課題の改善と共にミドル・ハイエンドのスマートフォンを中心に急速な需要拡大が考えられ、2017年にはタッチパネル世界市場の32.8%を占めると予測される。

#### 3. 静電容量式 インセル型

インセル型は、軽量・薄型化を可能とするほか、全光線透過率の向上などパネルの高付加価値化に優位性がある。そのため、「iPhone 5」（Apple）をはじめとしたハイエンドのスマートフォンに採用されている。インセル型は開発コストが高く、生産メーカーも限られることから、当面は一部のハイエンドのスマートフォンへの搭載に留まると考えられる。

#### 4. 静電容量式 オンセル型

オンセル型は大半がAMOLED（アクティブマトリクス式有機EL）向けであり、「GALAXY シリーズ」（Samsung El.）のスマートフォンへの採用がほとんどである。AMOLED向けは今後も「GALAXY」への搭載を中心に拡大していくほか、LCD向けについても2013年に量産開始される見通しである。

#### 5. 抵抗膜式

最大用途先であった携帯電話、スマートフォンにおいて静電容量式への移行が進んでいることから、大幅な減少が続いている。一方、ゲーム機やカーナビ、産業用途では底堅い需要があるほか、ペン入力求められる用途やコストパフォーマンスが重視される用途などでは需要が残ると考えられる。

#### タッチパネル構成部材 世界市場

2012年	2017年予測	17年/12年比
7,906億円	1兆2,619億円	159.6%

タッチパネル構成部材は、ITOガラス、ITOフィルム、カバーガラス、OCA（光学用透明粘着テープ）、回路配線材、コントローラICなど32品目を対象とした。

静電容量式タッチパネルの拡大と連動して構成部材の需要も大幅に増加している。2012年のタッチパネル構成部材世界市場は、前年比61.9%増の7,906億円となった。品目別に構成比を見ると、カバーガラス（加工品）が34.5%、次いでコントローラICが29.0%を占めた。静電容量式タッチパネルの構成部材は各品目とも好調だったが、中でも「iPad mini」（Apple）をはじめとするタブレット端末においてアウトセル型フィルムセンサーの採用が増えたことで、その構成部材であるITOフィルムが前年比3倍以上に急増した。

静電容量式タッチパネルでは、アウトセル型ガラスセンサーはカバーガラス一体型、インセル型、オンセル型への移行が進むと考えられるが、これらはアウトセル型に比べて部材の使用が少ない。また、LCD市場が飽和する中でこれまでの技術・知見を活用してタッチパネル市場に参入する部材メーカーが増えていることから価格競争も

生じており、タッチパネル構成部材市場の拡大幅は徐々に鈍化していく見通しである。

<調査対象>

【上巻】

アプリケーション市場編	1. スマートフォン、2. タブレット端末、3. 電子書籍、4. DSC、5. 車載ディスプレイ、6. ノートPC
タッチパネル市場編	1. アウトセル型静電容量式タッチパネル、2. カバーガラス一体型静電容量式タッチパネル、3. インセル型静電容量式タッチパネル、4. オンセル型静電容量式タッチパネル、5. 抵抗膜式タッチパネル
装置市場編	1. ラミネート装置、2. レーザー加工装置、3. スクリーン印刷機
タッチセンサー/モジュールメーカー事例編 (36社)	

【下巻】

タッチパネル部材市場編	1. ITOガラス (静電容量式用)、2. ITOガラス (抵抗膜式用)、3. ITOフィルム (静電容量式用)、4. ITOフィルム (抵抗膜式用)、5. メタルメッシュフィルム、6. 銀ナノワイヤーフィルム、7. ハードコートフィルム、8. 飛散防止フィルム、9. 保護フィルム (工程・出荷用)、10. 液晶保護フィルム (アクセサリ用)、11. OCA (静電容量式用)、12. OCA (抵抗膜式用)、13. OCR、14. カバーガラス (加工品)、15. カバーガラス (材料)、16. カバーシート (加工品)、17. カバーシート (材料)、18. ITOターゲット材、19. 回路配線材 (ターゲット材)、20. 回路配線材 (ペースト)、21. 回路配線用絶縁保護インキ、22. 異方導電性フィルム、23. 異方導電性ペースト、24. 表面防汚コーティング剤、25. ハードコーティング剤、26. 光学調整コーティング剤、27. 透明導電膜用絶縁保護剤、28. 加飾インキ、29. レジスト、30. ガラス基板 (センサー用)、31. ガラス基板積層加工用接着剤、32. コントローラIC
タッチパネル部材メーカー事例編 (24社)	

<調査方法>

富士経済専門調査員による調査対象企業及び関連企業・団体等へのヒアリング調査

<調査期間>

2012年10月～2013年1月

以上

資料タイトル	: 「2013 タッチパネルと構成部材市場の将来展望 <上巻・下巻>」
体裁	: 上巻 A4判 303頁 下巻 A4判 300頁
価格	: 書籍版 各97,000円 (税込み101,850円) PDF/データ版 各107,000円 (税込み112,350円) 書籍版+PDF/データ版セット 各117,000円 (税込み122,850円)
調査・編集	: 富士経済 東京マーケティング本部 第二統括部 第三部 TEL:03-3664-5821 FAX:03-3661-9514
発行所	: 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL:03-3664-5811 (代) FAX:03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL : <a href="http://www.group.fuji-keizai.co.jp/">http://www.group.fuji-keizai.co.jp/</a> <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/">https://www.fuji-keizai.co.jp/</a>